



# 石巻広域クラブ通信 <No.92>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI  
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER  
KyuEikoyochienchina2-12-3, Okaidokita,  
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3  
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター  
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2024年4・5月合併号

E-mail: [gishinomaki@gmail.com](mailto:gishinomaki@gmail.com)

E-mail: [koichi1839@outlook.jp](mailto:koichi1839@outlook.jp)

== 2023-2024年度 主題 ==

クラブ会長 青木満里恵「会員同志の親睦を深め、地域に奉仕しよう！」  
北東部部長 大久保知宏(宇都宮)「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」  
東日本区理事「未来のために今、学びと気づきを！未来のために自信を育み、真の喜びに出会う」  
アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう」  
国際会長 Ulrik Lauridsen (Denmark)「輝かそう、あなたの光を」

<今月の聖句>

「しかし、あなたがたは敵を愛しなさい。人に善いことをし、何も当てにしないで貸しなさい。そうすれば、たくさんのお報いがあり、いと高き方の子となる」(マタイ 6:35)

<強調月間> LT/ユース (リーダーシップトレーニング/若者の参加)

## 2024年5月第一例会プログラム

日時 5月24日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

月当番 千葉徳正

<プログラム>

- |  |             |
|--|-------------|
| 1. 開会点鐘  | 司会: 川上書記    |
| 2. ワイズソング・ワイズの信条   | 会長 青木満里恵 一同 |
| 3. ゲスト・ビジター紹介  | 副書記         |
| 4. 会長あいさつ  | 会長 青木満里恵    |
| 5. 食前感謝  | 副会長 関川祐一郎   |
| 6. 食事と懇談   | 一同          |
| 7. 能登半島地震支援ワーク報告<br>～進まぬ復旧、現状と現実～  |             |
| 報告者: 川上直哉/日野峻/清水弘一   |             |
| 8. 諸報告とアピール  | 担当          |
| (1) YMCA 報告 (2) 神戸と石巻を繋ぐチャリティーコンサート (3) 第27回東日本区大会への参加について (4) 6月ご苦労さん例会など |             |
| 9. ニコニコ 「能登半島地震支援活動のために」   |             |
| 10. みんなで歌おう!   | 歌の会フレンズ     |
| 11. ハッピーバースデー  | 会長          |
| 6日: 清水 弘一さん、16日: 木村 純さん<br>27日: 川上 恵さん                                     |             |
| 12. 閉会挨拶と点鐘  | 次期会長 関川裕一郎  |

## DBC3クラブの協働事業

### 能登半島地震支援ワーク報告

石巻広域ワイズメンズクラブ

ブリテン委員長 清水 弘一

2021年6月に神戸ポートクラブ、東京むかでクラブと石巻広域クラブは東日本大震災の支援活動が縁でトライアングルのDBC締結を結び

ました。以来、3.11追悼行事では神戸ポートクラブの皆さんが来石、4月の神戸でのチャリティーコンサートには石巻のメンバーが神戸を訪問するなど様々なDBC交流を重ねてきました。本年3.11追悼行事にも5名のメンバーが石巻に来訪され、行事前日の交流会において能登半島地震被災地支援についてディスカッションし、できる限りみんなで行きたいという想いを確認し、



今回の実現にこぎつけました。(写真上: 3クラブと富山・金沢クラブの皆さん、写真左: ワイワイ喫茶の様子)  
<次ページにつづく>



■ 4月データ / 5月号内容: 5月例会プログラム・巻頭言、4月例会報告、4・5月拡大役員会報告、チャリティーコンサート報告、能登半島地震支援ワーク報告、YMCA報告、静岡YMCA創立50周年記念報告、クラブスケジュール、東日本区十勝大会等

会長 青木 満里恵  
副会長 関川 祐一郎  
〃 姉齒 一紀  
書記 川上 直哉  
会計 櫻井 美智江  
直前会長 日野 峻  
担当主事 斎藤 勉

4月例会出席	14名	在籍会員数	18名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	8名	月間出席者	6名	スマイル	7,300円	76,354円
ビジター・メネ	0名	メーカーキャップ	2名	ファン	0円	21,540円
ゲスト・コメ	6名	月間出席率	48%	BF	0円	0円

<前ページよりつづく>

東京むかでクラブと神戸ポートクラブさんは、従前から年2回、東京YMCA野尻キャンプ場での特別例会やクリスマス例会等での交流がありました。被災経験があり、また被災地支援を続けてきた3クラブとして、被災者に寄り添い、お互いを理解しつつお話をしながらの交流ができた事は、参加者みんなが充実した体験と貴重な経験を得られた機会となりました。支援ワークの詳細報告は7~8ページをご覧ください。



### 4月第一例会報告

日時 2024年4月19日(金) 18:30~20:30  
場所 YMCA石巻センター

出席者 青木満里恵、大林健太郎(MC)、川上直哉、斎藤勉(Z)、清水弘一、関川祐一郎、平井順子(MC)、日野峻<ゲスト>栗野祥子さん(Love is Action代表)石井龍子さん(石巻栄光教会)、萩原恵子さん(Z)梶原友広さん(石巻山城町教会)、松川ふみ子さん・遠藤正枝さん(歌の会フレンズ)、

<プログラム>

- 1. 開会点鐘 会長 青木満里恵
- 2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
- 3. ゲスト・ビジター紹介 副書記
- 4. 会長あいさつ 青木満里恵
- 5. 食前感謝 副会長 関川祐一郎

「わたしを求めよ、そして生きよ」アモス書5:4

- 6. 食事と懇談 一同
- 7. ゲストスピーチ

「Love is Action」代表 栗野 祥子 様  
テーマ:「被災地にだれでも憩える場を創って」

- 8. 諸報告 担当
  - (1) YMCA報告 (2) 神戸と石巻を繋ぐチャリティーコンサートについて (3) 能登半島地震支援ワークについて (4) 第27回東日本区大会参加申し込みについて (5) 次年度クラブ役員体制について (6) その他(全国YMCA教育保育担当者会受け入れなど)
- 9. みんなで歌おう! 歌の会 フレンズ
- 10. ハッピーバースデー 会長
  - 4/5: 千葉徳正さん、4/17: 南奈央子さん、4/18: 石川光晴さん
- 11. 閉会挨拶と点鐘 次期会長 関川祐一郎

### <4月例会報告>

書記 川上直哉

2024年4月19日(金)午後6時半から、クラブの例会が開かれました。

この日のゲストスピーチでは、「Love is Action」の栗野祥子さん(写真下)が、ご自身が主宰される「黄金浜おむすび村」の紹介をしてくださいました。



栗野さんは2011年に古川にお住まいでしたが、ご家族が女川で働いておられた関係で、教会の仲間にも声かけをして、被災地の支援活動を始められました。そして

「内陸部」と「沿岸部」を「結ぶ」ことの意味と可能性に気づかされたそうです。聖書の言葉にも促され、石巻に移住され、被災地の支援の途を探されました。

栗野さんは「黄金浜」という渡波の一地域に惹きつけられたそうです。黄金浜を含む渡波一帯は、瓦礫の積みあがった津波被災地となりました。瓦礫は撤去され、道路は大きく新しく整備されて、「復興」が進んだように見えますが、なかなか人が戻りません。空地が延々と続き、大きくなった道路には海からの風が吹きすさぶ。そうした中に、人と人とが結び合う新しい場所を作り出したのが「Love is Action」の活動でした。空地の一角に美しい花園ができました。そのそばの十字路で交通事故が起きましたので、署名活動をして夜の照明を増やすこともできました。

被災地の復興は、こうした地道な活動の集積によってのみ、実現するのだと思います。栗野さんの活動に、クラブとしても参加できればと、励まされた例会でした。



### ■クラブスケジュール(5~7月)

プログラム名	月日	場所
渡波おむすび村春祭り	5月25日(土) 10:00~15:00	渡波黄金浜薬王堂の隣り
第27回東日本区大会	5月31日(金) ~6月1日(土)	十勝プラザ/日航ノウランド
YMCA ストレッチヨガ	6月5日(水)	新蛇田集会所
6月拡大役員会	6月14日(金)	石巻エンター
6月第一例会	6月28日(金)	石巻センター
仙台YMCA 会員大会	6月29日(土)	仙台YMCA
7月拡大役員会	7月12日(金)	石巻センター
7月第一例会(年次総会)	7月26日(金)	〃

## 5月拡大役員会報告

日時 2024年5月10日(金) 18:30~20:00  
場所 YMCA 石巻センター  
出席者 青木まりえ、関川祐一郎、川上直哉、清水弘一、  
大林健太郎、日野峻、阿部かよ子

1. 開会点鐘 青木会長
2. ワイズソング 全員
3. 会長あいさつ 会長
4. 軽食

### 5. 報告事項

#### (1) 4月第一例会の開催報告

日時 2024年4月19日(金) 18:30~20:30  
場所 YMCA 石巻センター  
内容 2ページ4月第一例会報告に同じ

#### (2) YMCA ストレッチヨガ教室の開催報告(Part40)

日時 2024年4月17日(水) 10:00~12:00  
場所 市営新蛇田集会所  
内容 ヨガ教室: 10:00~11:00 お茶会 11:00  
~12:00

参加者 青木、川上、清水、平井、金森、郷内、  
一般参加者 11名

#### (3) 石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサートの件

月日 2024年4月27日(土)~28日(日)  
場所 神戸聖愛教会礼拝堂  
参加者 大林メン・メネット、川上メン・メネット、  
清水、郷内宣子、石井龍子、栗野祥子  
内容 ① 4月27日(土): チャリティーコンサート、  
3.11大震災報告、交流会、被災地支援  
物品販売(完売)  
② 4月28日(日): 淡路島見学ツアー

#### (4) 能登半島地震 DBC 3クラブ支援ワーク(輪島で 炊き出し)報告

日時 2024年5月1日(水)~5月4日(土)  
・5月1日: 石巻~仙台~東北道~磐越道~北陸道~  
富山~穴水町~七尾市~輪島市  
・5月2日: 午前11時~午後3時 餅つき、ワイワ  
イ喫茶、避難所運営、衛生管理(東陽中学校)  
・5月3日: 午前11時~午後3時 餅つき、ワイワ  
イ喫茶、避難所運営、衛生管理(町野地区仮設住宅)  
・5月4日: 輪島市~七尾市~穴水町~富山~北陸道  
~磐越道~東北道~仙台~石巻  
場所 輪島市指定避難所・物資配布所(輪島市立東  
陽中学校)〒928-0215 石川県輪島市町野町栗蔵川  
原田33  
参加者 DBC3クラブ12名、富山クラブ1名、金沢  
クラブ3名、YMCA 同盟1名  
・石巻広域クラブ: 川上直哉、日野峻、清水弘一、  
郷内宣子、李裕弦 5名  
・神戸ポートクラブ: 北島伸三、大野勉、大野智恵、  
山田滋己、奈良明彦 5名

・東京むかでクラブ: 神保伊和雄、福島和洲太郎  
2名

### 6. 協議事項 議長 青木会長

#### (1) 5月第一例会の開催について

日時 2024年5月24日(金) 18:30~20:30  
場所 YMCA 石巻センター  
内容 ①メンバースピーチ 阿部かよ子さん  
テーマ「障が者とともに〇〇年」

#### (2) 第27回東日本区大会(十勝)への参加について

月日 2024年5月31日(金)~6月2日(日)  
場所 十勝プラザ/日航ノースランドホテル  
参加者 青木会長、大林健太郎、川上直哉、櫻井美智  
江、清水弘一

#### (3) YMCA ストレッチヨガ教室の開催案内(Part41)

日時 2024年6月5日(水) 10:00~12:00  
場所 市営新蛇田集会所  
内容 ヨガ教室: 10:00~11:00 お茶会 11:00  
~12:00

次回予定: 2024年8月28日(水) 10時~12時

#### (4) クラブ6月拡大役員会の開催案内

日時 2024年6月14日(金) 18:30~20:30  
場所 YMCA 石巻センター  
内容 ①次年度のクラブ会長方針と計画について  
②次年度クラブ役員の研修  
③2026年にはクラブ創立10周年記念と東  
日本大震災から15年を迎えて

#### (5) 仙台 YMCA ホテル専門学校被災地視察について

月日 2024年6月20日(木)  
場所 震災遺構(旧門脇小学校、旧大川小学校)  
内容 主に留学生(約50名前後)の課外授業

#### (6) 仙台青葉城クラブ5月例会ゲストスピーカー要請の件

日時 2024年5月16日(木) 18:45~20:45  
場所 仙台YMCA203会議室  
内容 能登半島地震支援ワークに参加して

#### (7) 6月第一例会とご苦労さん会の開催について

日時 2024年6月28日(金)  
会場 滝川(候補)

#### (8) クラブブリテン4・5月合併号と6月・7月号発行について

発行日 2024年5月22日(水)  
内容 ①合併号巻頭言(能登半島地震支援ワーク)  
②神戸チャリティーコンサート報告(川上)  
③能登半島地震支援ワーク特集  
④6月号巻頭言(青木会長)  
⑤7月号巻頭言(関川会長)

#### (9) 次年度(2024-2025)クラブ役員編成について

##### (最終確認)

会長: 関川祐一郎 副会長: 石川光晴・姉齒一紀  
書記: 川上直哉 会計: 清水弘一  
副書記: 日野峻 副会計: 阿部かよ子 直前会長:  
青木満里恵 監事: 石田信正

- ・事業委員長／ ①会員増強：石川 ②国際・交流：青木 ③地域奉仕：櫻井 ④Yサービス：日野 ⑤ユース：阿部かよ子 ⑥ファンド：大林 ⑦ブリテン：清水 ⑧ドライバー：川上 ⑨メネット担当：川上恵
- ・YMCA 特別プログラム委員／バザー（大林）、チャリティーラン（日野）チャリティーゴルフ（清水）、クリスマス（川上）／クラブ特別委員会／①3.11 みんなの文庫（川上）②石巻平和七夕（日野）③YMCA ストレッチヨガ教室（清水）

(10) その他

- ・今年度年会費の納入状況と未納者への連絡
- ・その他

7. 閉会あいさつと点鐘

関川次期会長

**4月拡大役員会報告**

日時：2024年4月5日（月）16:00～20:00

場所：YMCA 石巻センター

出席者：青木満里恵、関川祐一郎、川上直哉、清水弘一、大林健太郎、石田信正

<第一部：「これからのクラブ運営と会員増強」について> (16:00～18:00)

1. クラブの現状について（会員数の推移、出席率、退会者の事情など）
2. クラブの進むべき役割と例会の持ち方と課題
3. 会員増強についてのアイデアなど

<第二部> 4月拡大役員会プログラム(18:30～20:00)

1. 開会点鐘 青木会長
2. ワイズソング 全員
3. 会長あいさつ 会長
4. 軽食

5. 報告事項

(1) 2月第一例会の開催報告

日時 2024年2月22日（木）18:30～20:30

場所 YMCA 石巻センター（オンライン）

出席者 青木満里恵、阿部かよ子、大林健太郎、川上直哉、斎藤勉、櫻井美智江（MC）、清水弘一、関川祐一郎、日野峻 <ゲスト>堀越祥浩さん（仙台YMCA）石井龍子、加藤雄一

内容 ゲストスピーカー

仙台YMCA 健康事業部 堀越祥浩 様

テーマ：「能登半島地震 1.5 次避難所運営に参加して」

(2) 3月第一例会の開催報告

日時 3月11日（月）12:30～14:00

場所 YMCA 石巻センター

出席者 青木満里恵、阿部かよ子（MC）、石川光晴（MC）大林健太郎、川上直哉、川上恵、川上奏、櫻井美智江、清水弘一、平井順子、日野峻、石田信正（MC）、<神戸ポートクラブ>：大野勉、大野智恵、山田滋己、北島伸三（会長）、田代雅彦 <仙台青葉城>：阿部頌栄、涌澤博、加藤真子<十勝クラブ>：山下真（区LT委員長）<ゲスト>：大島博幸（福島主のあしあと教会牧師）、加藤雄一（仙台YMCA 総主事）、栗野祥子（黄金浜おむすび村）、石井龍子（石巻栄光教会）、長沼利枝・郷内宣子（3.11 みんなの文庫の会）、木村利恵（ヨガ教室）、金指崇（震災復興活動支援者） 以上 29 名

ゲストスピーチ 3DBC 神戸ポートクラブ

会長 北島伸三様・大野勉様

テーマ：チャリティーコンサート 2024 の開催について 「世界に平和を！若者に未来を！」

(3) 3.11 追悼礼拝と感謝の会 2024 報告

日時 2024年3月11日（月）14:30～16:00

礼拝/14:30～15:10 感謝の会/15:15～16:00

場所 石巻栄光教会礼拝堂

主催：石巻広域ワイズメンズクラブ

共催：公益財団法人 仙台YMCA

4ワイズメンズクラブ（仙台・仙台青葉城・

仙台広瀬川・石巻広域クラブ）

一般社団ワイズメンズクラブ東日本区

特定非営利法人東北ヘルプ

参加者数 礼拝堂 31 名（例会出席者、菅野健、吉

永肇子）、 ZOOM 登録者 M19 名、

ZOOM 登録者約 20 名 計 70 名

(4) アフガニスタンランドセル発送作業と運搬

日時 2024年3月31日（日）14:00～16:00

場所 石巻センター

内容 40 個（クレラ支援分）

参加者 日野、川上、郷内（3.11 みんなの文庫の会）、

清水、中澤牧師（運搬）

6. 協議事項

議長 青木会長

(1) 4月第一例会の開催について

日時 2024年4月19日（金）18:30～20:30

場所 YMCA 石巻センター

内容 ゲストスピーカー 黄金浜おむすび村

代表 栗野 祥子 様

テーマ：「被災地に誰でも憩える場を造って」

(2) 石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサートへの準備について

月日 2024年4月27日（土）～28日（日）

① 交流会（27日、中華料理店）②淡路島見学

② ツアー（28日）への参加人数

場所 神戸聖愛教会礼拝堂

内容 ①3.11 震災報告 ②販売商品の発送と値付け、釣銭など ③クラブへのお土産

## 神戸と石巻を繋ぐチャリティー

### コンサート 2024 参加報告

2024年5月27日に、日本基督教団神戸聖愛教会で、神戸ポートクラブ主催の「チャリティーコンサート」が開催されました。石巻広域クラブから、メンバーとして清水さん・大林ご夫妻・川上夫妻が参加し、さらに、ゲストで参加くださっている郷内宣子さん、石井龍子さん・栗野祥子さんもご一緒くださいました。

コンサートの会場は2階の礼拝堂でした。1階のホールで、石巻の物産を販売しました。「完売」でした。お越しくくださった方々の思いが、本当にありがたく、伝わってきました。

コンサートは高校生の合唱と、フルートの演奏でした。この二つの間に、YMCAからの能登支援等の報告と、そして石巻からの「3.11被災地報告」が行われました。コンサートが早めに終わり、予定の倍の時間が頂けました。石巻からのメンバーが皆さんの前に立ち、そして「東北ヘルプ」のニュースレターが配布され、郷内さん・栗野さんの活動紹介を中心に、川上が紹介をしました。そして、福島県の元強制避難地の様子をお話しできたことは、大きなことだったと思います。「風化」の痛みを知っておられる神戸ならではの反応だ、と、手ごたえを感じたことでした。

コンサートの後、賑やかに「打ち上げ」が行われました。さらにその後、神戸をご案内いただき、高台からの夜景を拝見し、イルミネーション豊かな波止場の公園を歩きました。翌日は淡路島をご案内いただき、「淡路人形浄瑠璃」を拝見し、おいしい食事を頂きました。みんなで、直後に予定されていた能登支援への弾みをつけることができたことでした。(↓写真：神戸ポート・石巻広域クラブ参加者記念撮影)

「ワイズは、交流が第一。奉仕は第二である」と、昔から、よく語られたそうです。そこに、活動が楽しく持続する秘訣があると、そう実感できた、チャリティーコンサートへの参加でした。(川上記)



### (3) 第27回東日本区大会(十勝)への準備について

月日 2024年5月31日(金)～6月2日(日)  
場所 十勝プラザ/日航ノースランドホテル  
参加者 青木会長、大林健太郎、川上直哉、櫻井美智江、清水弘一 (5名)

### (4) YMCA ストレッチヨガ教室の開催

日時 2024年4月17日(水) 10:00～12:00  
場所 市営新蛇田集会所  
内容 ヨガ教室:10:00～11:00 お茶会 11:00～12:00 (3, 11 みんなの文庫の会等)

### (5) K・Kワイズの退会届について

退会日 2024年3月31日付(連絡メール3月19日)  
理由 一身上の都合

### (6) 東日本大震災より15年記念報告書の発行計画について

発刊日 2026年3月～6月  
背景 ①2026年に区東日本大震災支援対策本部の解散計画②石巻広域クラブ創立10周年  
その他 編纂準備委員会の設立(仙台・石巻・もりおかクラブ、仙台YMCA)

### (7) 6月第一例会とご苦労さん会の開催について

日時 2024年6月28日(金)  
会場 未定

### (8) 今年の平和七夕の開催準備について

日時 2024年7月～8月  
場所 未定  
内容 設営場所を絞り簡素化する。

### (9) 次年度(2024—2025)クラブ役員編成について

#### <別紙案参照>

会長：関川祐一郎 副会長：石川光晴・姉齒一紀  
書記：川上直哉 会計：清水弘一  
副書記：日野峻 副会計：阿部かよ子 直前会長：青木満里恵 監事：石田信正  
事業委員長：(①会員増強 ②国際・交流 ③地域奉仕 ④Y サービス ⑤ユース ⑥ファンド⑦ブリテン ⑧ドライバー ⑨メネット担当  
YMCA 特別プログラム

クラブ特別プログラム(①3.11 みんなの文庫 ②石巻平和七夕 ③YMCA ストレッチヨガ教室

### (10) その他

- ・クラブブリテン4月号の原稿依頼について
- ・今年度年会費の未納入者のお願い

## 7. 閉会あいさつと点鐘

関川次期会長

### 祝 静岡YMCA 創立50周年記念

富士山部全クラブが運営する特定非営利法人静岡 YMCA が創立50周年の記念式典とコンサート、祝賀会が、4月28日(日)に、みしまプラザホテルで多くの来賓、YMCA、ワイズの関係者が出席して行われた。記念事業としてウクライナと能登半島地震への支援金が日本YMCA 同盟 田口総主事に贈呈された。(清水出席)



稲田理事長と田口総主事


**写真上より**

- ① 石巻物産販売
- ② 長田高校合唱団
- ③ 3.11 被災地報告
- ④ 石巻参加メンバーと神戸ポート北島会長
- ⑤ 淡路島探訪

① 2024 年度スタートしました  
4 月 5 日 (金) に無事に春季プログラムが終了しました。そして、2024 年度のレギュラークラスが 4 月 8 日 (月) からはじまりました。初日はバタバタしましたが何とかスタートすることができました。

② YMCA バザー 2024 開催について  
昨年度から元の形に戻り YMCA バザーが開催されました。今年は 6 月 9 日 (日) に開催予定で委員会が発足され準備が進められています。詳細が決まりましたらご案内させていただきます。また、物品等のお願いもありますのでご協力いただければと思います。  
石巻 Y's でも出店をお願いできればと思います。

③ 幼稚園 1 歳児、2 歳児受け入れスタート  
2024 年度 4 月より幼稚園では 1 歳児、2 歳児の受け入れをスタートしました。約 2 ヶ月が過ぎ、最初は泣いていた子どもたちも、園庭で元気に遊ぶ姿を見せてくれています。また、年中さん、年長さんの子どもたちが面倒を見てくれる姿も見られるようになりました。

④ 2024 年度イチゴワーク報告  
5 月 19 日 (日) に今年度第 1 回目のイチゴワークを行いました。元メンバーのお父さん、ボランティアリーダー、元総主事村井さん、職員 5 名の 8 名での参加となりました。  
今回の作業は親株から出た蔓をネットに乗せる作業をしてきました。蔓が絡み合っているので解き、扇状に広げる作業をしました。

⑤ YMCA バザーのご案内  
6 月 9 日 (日) YMCA 立町会館にてバザーを開催いたします。現在、様々な準備を進めています。10 時から 14 時の時間で開催いたしますので、みなさまも是非お越しください。お待ちしております。(↓2023 年 6 月のバザーです)



# DBC 3クラブ支援ワーク概要

## (石巻広域・東京むかで・神戸ポート)

- ▶ 1. 事業名：「輪島で炊き出し」
- ▶ 2. 実施日：2024年5月2日（木）・3日（金）AM11:00~PM3:00
- ▶ 3. 実施場所：輪島市指定避難所、物資配布所（輪島市立東陽中学校）  
石川県輪島市町野町栗蔵河原田33番地
- ▶ 4. 参加者：石巻広域クラブ 5名  
東京むかでクラブ 2名  
神戸ポートクラブ 5名  
YMCA同盟 1名
- ▶ 5. その他応援クラブ  
富山クラブ、富山YMCA、金沢クラブ



### 東日本大震災から能登震災を考えると

石巻広域クラブ書記 川上直哉

2024年1月1日は、特別な元日となりました。その日の夕方、大地震が起こったのです。能登半島が、大きな被害を受けました。津波も起こり、そして、大きな火災が起こりました。

東日本大震災や阪神淡路大震災を体験した人は、皆、心に強い動揺を覚えました。「あの時」に、思いが戻るのでしょうか。「何かしなければ」と、気持ちがあやりました。私の身近なところでは、例えば南三陸町社会福祉協議会は、正月休み明けを待たずに、できることを探し始めました。そして、神戸ポートクラブの大野さんが、「餅つきでお餅を提供し、コーヒーを淹れに行こう」と、石巻広域クラブに声をかけてくださいました。

しかし、その後、事態は思うように動きませんでした。被災地にいち早く入った国会議員をバッシングする声が、東京から拡散されました。勢いは削がれました。私の身近なところでも、「ボランティアに行くなんて、なんて迷惑なこと！」という声が聞こえてきました。能登に駐在している仲間からは「本当に、ボランティアがいまません」という報告が、公式の会議でなされたのでした。

一体何が起きているのか。現地に行かなければわからないと思いました。そして今回、日本YMCA同盟のご手配を賜り、輪島市立東陽中学校避難所へ、神戸ポート・石巻広域・東京むかでの3クラブで、ボランティアに行くことができました。それでも、その要請は「3週間前」に為された、ということに、やはり、今回の特徴が表れていたように思われます。

私たち石巻広域クラブは、まず七尾市内の「物資倉庫」を訪ねて献金を手渡し、状況を伺いました。この「物資倉庫」は、キリスト教団体が超教派で力を合わせて運営・活用しているものでした。そこで、宮城県からボランティアとして常駐していたスタッフから、「今回の石川県の対応は、遅い、と評判です。それは、過去最悪の対応として知られる2011年の宮城県の対応に匹敵する、と、そんな評判です。宮城県人としては、恥ずかしい思いをしています。」とっておられました。

輪島市は「倒壊寸前」の建物にあふれていました。実際、私たちが到着した少し前に、崩れかけた建物が、人々の目の前で倒壊した様子が、スマホに撮られてネットに流れていました。避難所でも、その噂は流れていました。そして「政府が悪い」という声がたくさん聞こえます。でも、被災現場に立つと、その多くは「ためにする議論」と気づきます。(次ページにつづく)

一番の問題は、「中間支援」の弱さにあると、今回、実感しました。そして「中間支援」の弱さの原因は、恐らく、金沢市や福井市が「ほぼ無傷」に見えるところからきていると思われました。その結果「自分たちの無力さ」と向き合うほどには、現場から距離をもって事態に向き合う中間支援者が、真剣になれない。「できることをやる」という次元にとどまる。結果「できない現実に向き合わない」という残念なことが、少しずつ、積み重なっている。それは、東日本大震災の際に仙台市が「ほぼ無傷」に見え、2011年4月には通常の活動が始まっていた状況を思い起こしながら、想像することです。私は津波被害を広範に蒙った仙台市若林区の住民でした。その時、その冷たさに、ぞっとしたものでした。「泣く者と共に泣く」こと、現場に立つことの重要性を、改めて知らされた旅でした。(下の写真はワークでの状況)



突きたての三色お餅



↑写真上

ワイワイ (YY)  
喫茶、入れたて  
のコーヒー

写真右→

東陽中学校避難所と支援物資の管理



避難所の受付と案内



町野地区避難所・仮設住宅の周辺建物



日本三大朝市・輪島の朝市市場の火災跡地